



サカタニ友の会 ニュース

望楼の決死

先月に続いて、小学校時代、教育の一環として見せられた映画の話。

この映画は、1933年(昭和8)年、東宝映画、今井正監督作品。主演は高田稔と原節子。

節子は昭和10年頃、朝鮮日本領土化と満州(日本の傀儡国)の国境の甲緑江の朝鮮側を守る南山駐在所に、新任の浅野(斎藤英雄) 巡查(妻役原節子)が赴任して来る。満州の討伐隊が追いつめられた匪賊(ウラチ)たちが、

追いつめられた匪賊(ウラチ)たちが、実態は反日バルチザン?が、冬、凍結した川を渡って、こちらに侵入するのを防ぐため、地元民の協力を得て、駐在所の補強の新任国境警察官たちの労苦と活躍を描いた、西部劇風の、戦意高揚アクション映画。

私達は、匪賊が捕まる場面、大拍手をした。映画のシーンに、賊が侵入前に、ピストルを三角巾(ハンカチ)で覆い隠す場面があった。映画鑑賞後、学友たちとかくれんぼで遊ぶ際、そのシーンを真似て、鬼

役は、三角定規をピストルに見立て、学友を被せ、隠れた子を見付ける

と、口で銃声を既に、戦争反対勢力は「治安維持法」で弾圧され、殆どは牢獄

送られ、報道も国が管理していた時代、戦争を遂行するには、映画は、格

は、青い山脈)から載きました。

この映画主演のお一人は、昨年9月5日お亡くなりになった永遠の美女と称された原節子さん(95歳没)が主演されています。お写真



原節子が、朝鮮国境で騎兵銃をぶっ放す画面

発行者 株式会社サカタニ 集西楽サカタニ ファミリーマート サカタニ京阪七条店 〒605-0993 京・東山区七条二丁目 電話・075-561-7974 URL www.sosake.jp/ Eメール info@sosake.jp 月刊 発行会員新聞 編集 酒谷 義郎 Eメール yosirou@sosake.jp

第3日曜日開催2月21日 定例朝9時~ 第132回 朝粥 食べておしゃべり会



19年間破られなかったそうです。その記録は出身大学の陸上競技部の歴代最高記録として今も破られないままホームページに掲載されていることからもそのすごさがうかがわれます。そんな古村さんは「マラソンは日々努力せんと一夜漬けはきかん。それは手品も同じ。自信は練習から生まれてくる」と。そんな練習を積まれた中から本日披露された手品は、ロープを使うもの、わつかを使うもの、コー

本日の講師は、京都アマチュアマジシャンクラブ会長の古村正昭さん。本日はマジシャンとしての登場です。別の驚きの経歴がご自身のマラソン記録。京都のマラソン記録保持者として

この映画の時代背景を調べた。当時の満州国財政部長や国務院総務長官を歴任し、経済財政政策を統轄し、満州経営に辣腕を振った人は、何れも00年安保を強行採決した岸信介氏だった。その外孫の安倍晋三さんが、先般安保を通した。俗に、歴史は繰り返すと言ったが、戦争、疎開、飢えの時代を経験した世代としては、戦争は永遠にサヨナラしたいものだ。

どんつき ▼私がパソコンを使うようになったのは、もう30年近く前。シャープ MZ780B(写真)を27万円?で購入した時からです。当時はワープロが高価で代用で買ったのです。



今から思うと、オモチャの様な機能しか無ったのですが、随分役に立ちました。データーの保存は、カセットテープ。夏、雷の停電で何回も「パー」になりました。

第9回: ご一緒に、橋掃除をしませんか?!

七条大橋清掃活動 60分程度

2016年 3月7日(月) 午前9時: スタート

★集合場所: 京阪七条駅西南出入口
☆汚れても良い服装で 雑巾・タワシ持参
作業終了後: サカタニ2F: 懇談会60分程

汚れた今の橋



架橋時の橋



▼私も含めて、前の戦争を知る世代は、急激に減少し始めました。老人達は、あの悲惨な時代の事を、孫や子供たちに伝えるように致しましょう。

▼小さな日本でも、戦後70年平和で豊かな国です。その前に、大きな国を目指していた日本は、自国も他国も大きな犠牲を強いました。

▼企業だけでなく、国家でも当てはまります。大東亜共栄圏を目指した天日本帝国も国民や世界の人達に大犠牲を強いました。

▼ふと、昔に聞かされた、オソップ物語「牛と蛙」を思い出しました。牛の大きさは「このくらいか」と言ってお腹を膨らませてとうとう、お腹がパンクしてしまっただけというお話です。

▼そのシャープが経営不振で台湾の鴻海(ホンハイ)傘下で再建を進めるとニュースが報じられました。大きくされ過ぎたのでしよう。

▼2000年頃、ある会合で三重県龍山に行きました。その際、シャープ工場予定地の巨大なことに驚きました。更に堺にも大工場を創られました。

ヨシイちゃんのひょうたん



前号の続き
時は流れる③

私ことヨシイちゃん「は、この二月六日で、戸籍上82才なる。だが本当に生れた日は一月生まれ。一ヶ月遅れたのは父が16才で、当時京都一商の4年生(現在なら高二)実母15歳時に生まれたので、大騒動だったらしい。高校一年生の時、英語の先生が偶々、私の父も習った先生だった。お前の親父の事で学校が大変迷惑した」と言われた。父は、退学になり、暫く、大阪の酒屋さんに身を預かってもらたと聞いている。



祖父喜一郎は、二人が若すぎると祖父母の子として戸籍届けを出す、算りだした様だ。祖母が亡くなった時、遺品整理中、秋の臍の緒を見つけた。その箱の上に、祖父の字で、喜郎二月六日生れとあり初めて事情を知った。もし、そのママで、喜郎で父の弟で届けられたら、私は、今と全く違った人生になったろう。

尋常小学校入学時も祖母と登校した。友達等には、お母さん父さんが有るのに、なほ僕には、お祖父ちゃんとお祖母ちゃんしかいないと思

と話してくれた。ヤッパリ有ったんだと飛び上がるほど嬉しかった。で、「ホナ、お父さんは誰と聞き返すとカメさん」と言う。私はその人を店の番頭だと思っていた人が、父の一郎だった。(写真は小三年時家族。その後、妹弟が生まれた。祖父は日本の敗戦を悲しみながら、敗戦直後(58才)亡くなった。未だ、戦前の相続法にだったので、父には姉はいたが相続は、長男の父が後を継いだ。その父は、超モテ男で、三度結婚しその度に子供一人と妹が三人が出た。私の生みの母も、後に嫁ぎ弟二人妹一人。複雑な家庭環境、家族関係であるが、今も全員と仲よく付き合いが出来る。

私の生まれた時、小細工をせず、正しく戸籍届けをしてくれたお陰だと思っている。人生でも事業でも、最初のボタンの穴の位置を間違えると、後に大きな災いをもたらすことが多い。

稲荷山 ぶらり散策記 越智薫史 17

伏見稲荷 大社が五穀豊穡の神さんであつたというのはいくつか知られています。伏見稲荷大社は狛犬ではなく、キヌネが参拝者を迎えます。口元は稲穂「宝珠巻物」なまをくわえています。ルーツは稲穂をくわえたキヌネであつたと考えられます。主食である稲を善獣キヌネ、モクラなどから守つてくれるのがキヌネからです。キヌネを神格化して祀つたのです。何時のころからか、五穀豊穡の願いから稲光繁盛・金儲けへ変化しています。この変化をどう



気がつけば、私は赤ばかり身につけている。カバン、靴、オーバーコート、スカートなどに至るまで。少しピンクがかつた桃紅色こそマイカラーのはずだったが、この二月の春寒対策としての真紅だったか。燃えるような熱気を帯びていなかったのだ。

赤は老人の色ともいわれるが、ほんとにくすんではいられない、ニュースを見聞きすれば、重大な岐路に立っている気がして、いたたまれないのだ。またこの国は滅びに向かうのか?と。静かな市長選の投票率しかり。原発の再稼働しかり。

ああ、でも三月が又来る。春、三月になるとまた、何か、始めたくなるのだ。ちなみに、社交ダンス。始めて1年になる。篠笛は3年前。これ以上は目下、自粛モードにあるが、人生のラストオーダーには、まだ時間がありそうだ。天の時は三月、地の利は、地元北大

路 紫明通り(宇喜界隈) 人の輪は、無尽蔵だし。目下、朝風呂が好きで、近くのスポーツジムにいそいそと出かける。といつても、筋トレとか、泳ぎとか、タイムや距離、重さなどに関心はほとんどない。湯船やヨガのマットのほわりで、日替わりのおしゃれに興じているのだ。自身の健康問題から、家族の話題へと広がり、お勧めランチの選り取りまでは、想定内だが、そこからは先が実は、美味しいところ。実はこの「社交ダンス」のシニア世代の青春時代にダンスパーティーは結構にぎわったという。10歳ほど下の我ら、団塊の世代は、フオーダンスや歌声だったけれど、ちょっと上の皆さんの60年代は、そうかあ、ワルツ、タンゴ、ブルース、チャチャチャだったのか、と。自分がダンススポーツをスタートさせて初めて見えて来たのだった。もともと、そんな皆さんも80代前後となり「断捨離」「終活」

しめあつての感じがよす。伏見稲荷の裏参道の土産物店が並ぶ中に「いなげや」という店があります。店頭で焼いて売っています。稲荷餅発祥の店です。餅屋を営んでいた先々代が、100年前程に岐阜県大垣から出てきて、ここに餅屋を始めたのだと云う。初代の店主郷龍蔵さんは大垣餅の製法伝承を営んでいました。昭和の初期に伏見稲荷大社参拝の折、稲荷山の美さと参拝客にぎわう参道に心魅かれて現在地に店を構えました。大垣では赤味噌を使っていたが、ここは京都の白味噌を使つたのが始まりです。わずかな0.00メートルの参道の土産物店

と云うのは長く知られています。伏見稲荷大社は狛犬ではなく、キヌネが参拝者を迎えます。口元は稲穂「宝珠巻物」なまをくわえています。ルーツは稲穂をくわえたキヌネであつたと考えられます。主食である稲を善獣キヌネ、モクラなどから守つてくれるのがキヌネからです。キヌネを神格化して祀つたのです。何時のころからか、五穀豊穡の願いから稲光繁盛・金儲けへ変化しています。この変化をどう

そんな乗りで、市長選も論じられだすと、かの「シニョーリー」のような候補者が欲しかったあ、となる。政治はそんな乗りだけでは到底、と思うけれど、おばちゃんたちのこうした言いたい放題の渦中にとると、そうだそうだ、とそれぞれ、語り、笑い、熱くなつては散る。ダンスではリード役の男性たちはまさかこんなおしゃべりに興じたりしてはいないだろうなあ。おじちゃんたちの交流いかばかり?

今、そんな、場が、とても大切かもしれない。あの同窓会の親しさで、冷え切つた亡国の政(まつりごと)を初心に帰つて論じたいものだ。そうでなければ、余りに、あの3.11の被害者に申し訳ない。

には軒の稲荷餅屋がありますがこの店で修業と方たがは出店したそうです。材料は小麦粉、白味噌、ゴマ、砂糖を太き糸で練り合わせたものを生地として使っています。

京阪伏見稲荷駅近くの宝玉堂も初代は岐阜の人で、いなげやの遠縁にあつたので、ミニ餅を作つたのが、味の追求に余念のない人、ほんのりと甘さを持つ京都の白味噌に魅せられます。

当初は、東福寺の門前、賀茂山前餅で銘打つた餅を販売してました。その後「いなげや」の世話で現所在地に出店しました。

路 紫明通り(宇喜界隈) 人の輪は、無尽蔵だし。目下、朝風呂が好きで、近くのスポーツジムにいそいそと出かける。といつても、筋トレとか、泳ぎとか、タイムや距離、重さなどに関心はほとんどない。湯船やヨガのマットのほわりで、日替わりのおしゃれに興じているのだ。自身の健康問題から、家族の話題へと広がり、お勧めランチの選り取りまでは、想定内だが、そこからは先が実は、美味しいところ。実はこの「社交ダンス」のシニア世代の青春時代にダンスパーティーは結構にぎわったという。10歳ほど下の我ら、団塊の世代は、フオーダンスや歌声だったけれど、ちょっと上の皆さんの60年代は、そうかあ、ワルツ、タンゴ、ブルース、チャチャチャだったのか、と。自分がダンススポーツをスタートさせて初めて見えて来たのだった。もともと、そんな皆さんも80代前後となり「断捨離」「終活」



路 紫明通り(宇喜界隈) 人の輪は、無尽蔵だし。目下、朝風呂が好きで、近くのスポーツジムにいそいそと出かける。といつても、筋トレとか、泳ぎとか、タイムや距離、重さなどに関心はほとんどない。湯船やヨガのマットのほわりで、日替わりのおしゃれに興じているのだ。自身の健康問題から、家族の話題へと広がり、お勧めランチの選り取りまでは、想定内だが、そこからは先が実は、美味しいところ。実はこの「社交ダンス」のシニア世代の青春時代にダンスパーティーは結構にぎわったという。10歳ほど下の我ら、団塊の世代は、フオーダンスや歌声だったけれど、ちょっと上の皆さんの60年代は、そうかあ、ワルツ、タンゴ、ブルース、チャチャチャだったのか、と。自分がダンススポーツをスタートさせて初めて見えて来たのだった。もともと、そんな皆さんも80代前後となり「断捨離」「終活」

しめあつての感じがよす。伏見稲荷の裏参道の土産物店が並ぶ中に「いなげや」という店があります。店頭で焼いて売っています。稲荷餅発祥の店です。餅屋を営んでいた先々代が、100年前程に岐阜県大垣から出てきて、ここに餅屋を始めたのだと云う。初代の店主郷龍蔵さんは大垣餅の製法伝承を営んでいました。昭和の初期に伏見稲荷大社参拝の折、稲荷山の美さと参拝客にぎわう参道に心魅かれて現在地に店を構えました。大垣では赤味噌を使っていたが、ここは京都の白味噌を使つたのが始まりです。わずかな0.00メートルの参道の土産物店

京都&東山 ぶらりピカリ

67

大きく変わる
しちじょうとおり

七条通

⑪ 100までの

7は、世界中で、100までの好きな数字調査で第1位。その「七」を冠した「七条通り」には、三十三間堂・京都国立博物館・東西本願寺も有り、京都駅も近くに、京阪電鉄七条駅も有る。が、三、四条に比べ地味な通だ。ところが最近、大変化が起こりつつある。



「京都美術工芸大学京都東山キャンパス」が2017年9月オープン。定員300人対応の校舎を新設、市民も利用可能なホールも備えるという。更に、少し先(2019年)



「道博物館」のオープン。第二弾は、外資系のホテルが妙法院積翠園傍に本年9月オープン。



その第一弾は、4月29日、梅小路にJR西日本の「京都鉄道博物館」のオープン。

後)には、鴨川西岸の旧崇仁小学校の跡地に市立芸大の移転が決定している。その周辺には「音楽ホールや絵画館」の計画も噂されていて、この二つの大学の連携で新しい文化芸術の拠点が誕生す



写真の姿。右は博物館、左は、旧宮家の塀。手前は智積院、遙かに西山の峰々が望める。日本中の大通りの三叉路でこの様な風景は、ここだけ

ることになるだろう。それは、これからの話だが、七条通と東山通りの三叉路の今現在、



※七条大橋から真東に阿弥陀が峯が見える。その頂に五六五段の石階を登ると豊臣秀吉公の墓所がある。入山は有料です。



扇骨の日干し 官等の職人さんの減少が影響したのだろう。

減と、高齢者比率が日本で(特に五条以南)住人の多くが携わっていた、清水焼が山科や宇治市に。扇子の職人さんの移転。大工、左

通称「おんな坂」と言われ、京都女子学園の通学路。朝夕は、京阪電鉄利用しての、女子生徒、学生がワンサとお通りになる。そんな好立地で有りながら、「商店」は激減した。東山区は居住人口の激

だるう。更に、少し北側の道は、

千本北大路

市電が走った 京都を巡る

福田静二

61



千本北大路に到着した京都市電

寺前を市電は出発しました。わずか百メートルも走ると、市電は右へ九十九度曲がって、向きを東へと変えます。市電は、西大路線から北大路線に入りました。京都の市電網の北西端に当たるわけです。曲がる角には、カトリック衣笠教会があつて、十字架を置いた白い建物は、西大路通、北大路通からもよく見えて、付近のランドマークにもなっていました。左大文字も車窓からは、どンドン離れて行きます。

紙屋川を越ると、あとは少し下って行き、車窓に大きな建物が見え始めると、「千本北大路」に到着します。南へ千本線を分岐するT字形の市電交差点となっています。ポイントは南方向に行けるようになっていますが、千本線から北大路線西側へ行くポイントには営業系統は通らず、車庫へ入る市電の回送などに使われています。また西側には北大路線の渡りポイントもあつて、ここを始

紙屋川に沿って、東側には豊臣秀吉が築いた御土居が続いていました。現在でも、少し北へ歩くと、その遺構を見ることが出来ます。この付近の御土居は、紙屋川の段丘の高低差を利用して土塁を築いたわけです。

千本通は、南のみに市電が走りますが、北側へも続いており、左手には佛教大学があつて、学生の乗り降りも多くありました。また交差点の南西側には、京都府立盲学校があります。明治十二年に京都盲啞院として開校した日本初の盲学校です。関連する施設として、千本通側には



教会を見て、西大路線から北大路線へ入る

終発とするシステムが利用されています。また鳥丸車庫からの臨時系統が、ここで折り返す時にも利用されています。北大路線は、ここから東へ船岡公園前方面へは、さらに下り坂になっていることが停車場からも見

て取れます。東西に走る北大路線に入ると車内へ差し込む光線の角度も違ってきます。車窓から見える風景も、心なしか違うような思いになり、市電の旅にひと区切り付けたくなるような千本北大路です。

酒屋で生きて 生かされて



第百十話の③ 前号の要約

その頃の私、上鳥羽在の(株)福井善四郎本店京都店の役員は常務で店長だったが、報酬は極めて低額。何れは諦める心算だったが、がそれまで、バイトを除き酒屋以外には、経験が無い。酒屋免許は厳しい制約があり、簡単には酒屋が出来ない時代だ。それで元々が創り、東京の酒屋に売却した 京阪麦酒販売(株)と名称を変えた会社も経営不振で整理。その会社を多額の負債と共に、私が引き受け、酒小売を始めた。時期は石油ショック前年。

酒問屋で百貨店のお取引があり、その関係で大阪「丸紅」さんに行つた。(1983年昭27)同社の有るビルの周りは、「主婦連」のデモがとり囲んでいた。デモを掻きわけて、事務所へ。担当者とは商談の後、「何のデモ」と尋ねた。丸紅が関わつたヤミ買い付けへの「抗議デモ」と告げられた。そして、「今は、あのようなデモをしてるけど、今年末には、買うものが無くなり大騒ぎなる」と言う。理由は「今は石油時代、アラブの意向で石油が止まれば、日本はお手上げや」と言われた。半信半疑で「そんなアホな」と思った。

2階は住居だが一階は酒問屋時代のまま空家。そこを倉庫にして、醬油、砂糖、油等々を蓄えた。京阪麦酒(株)は、引き受けたが、実務は、信頼できる下女史と社員に任せていた。得意先に大きな料理屋や「バー」があり、低利益な店だったが黒字経営が出来ていた。そこへ、石油ショック。お得意先には(善えた商品で)ご不自由をお掛けせず、利益率も高まり大黒字。酒問屋を退職し、自立を決意した。父は山科に住居も仕事も移していったので、現在地の二軒家(写真)を私の会社が父から賃貸し使うこととした。右側は酒屋。左は当初立ち飲み酒場だったが後うとん屋めん坊にした。今はビルに建替え、1Fはファミレスは集客薬との名でギャラリー・酒楽場ホールに使用中。



蓬莱のありか 目黒

蓬莱の珠がなる木は、蓬莱山の頂にある。くらもちの皇子は、かぐや姫に蓬莱山へ出立すると告げて行つた。私は小さい頃、蓬莱の珠の枝を読んで聞かせてもらった。途端に疑問が浮上して昼も夜も考えた事柄がある。蓬莱という想像もつかない地のことである。皆さんも、お考えになりませんか？ 蓬莱とは、どこにあるのか？

LET'S DO IT!

編集史子 FuMiko Kouketu

今年で東日本大震災から丸五年になります。被災地は今どうなっているのか、最近はずつかり報道もないだけに大変気になります。

フラリー・パッドは、二〇一三年に、津波被害の大きかった岩手県宮古市に足を運び、仮設住宅や小学校を訪問させていただきました。あの時お会いした皆さんは元気がいいか、元の生活に戻れたのだろうか、何かにつけて気になります。

昨年、とあるご縁で、福島の子供たちを福知山・三和にサマーキャンプに招く活動に携わつていての方とお話をする機会がありました。キャンプの模様を納めたDVDも拝見させてくださいました。子供たちが何のために来てもなく、マイクロシベルトをする姿に唖然としました。言葉にできる姿に唖然としました。東日本大震災は決して終わった訳ではありません。被災から復興



「一気」に駆け抜けて平穏な生活を取り戻せた地域がたくさんある一方で、未だに避難生活や困難な生活を強いられる地域もたくさんあることは忘れてはいけません。現地から遠く離れる程、震災も過去の出来事のように感じます。しかし、今こそ現実を見やること、震災を風化させないことが大切なことです。

フラリー・パッドは、自分たちなりの被災地支援として、この三月に地元京都でチャリティライブを開催します。自分たちができることは音楽しかありませんが、音楽が少しでも誰かのためになればよいと思いで企画しました。友情出演してくださるミュージシャンもあり、一緒に被災地の今を知り、自分たちができることを考え、現地にエールを届けたいと思つています。入場料の一部をご縁ある支援団体に募金することで、現実的な支援にもつなげたいと思つています。

思いは行動に移さなければ現実にはなりません。自分たちでできることだけではないから、まずは動いてみよう。フラリー・パッドはそう考えます。音楽の力で人々を元気に。

どれ、拝見・・・これはあ・・・」

「姫の目までも騙す素晴らしさ。姫愕然。もはや彼の奥方になるしかないのか。と、そこへ」

「おくり、皇子、くらもちの皇子様やあ、お支払いがまだですよ。でき次第頂けるとのお約束ですよ。」

「珠の枝を制作した職人たちが取り立てにきた。くらもちの皇子の顔色が変色。」「おくり、皇子は、安んずらう。」

こうして、姫は「安心、くらもちの皇子は泣く泣く泣くを諦めたとき、悪い事をすれば必ずバレます。忘れればそれだけ結果に響きます。天網恢恢疎にして失わず。朽木糞牆(きゆうぼうぼう)ふんしよう..腐った木と腐ってボロボロになった土壁から、手の施しようがないもの、役に立たない物の例え。怠け者。」とはよく言ったものである。

編集後記

▽この6月で、0号になる。先月号本欄で、粹がつてもう10年は頑張ろうと書いたがチョツと無理なようだ。

▽昨年12月号は、とんでもない失敗をした。1月号も、ご校正を戴きながら、それを直しせず、に少しミスった。

▽今、日本人の平均寿命は、男は80歳、女性83歳。健康寿命は、男性が72歳、女性が70歳。何れも世界一。

▽編集者は、既にそれを越えた。

▽身体は毎朝一定時間、体操と乾布摩擦で元気だか、記憶力が落ちた。とんからりんも二度三度似た様の事や同じ事を書くことが増えた。

▽お優しい読者の方は、ご指摘はされませんが、配布後、自分で気が付き、恥ずかしく赤面すること再々この頃です。

▽それでエレベーターは使わず、階段昇降の消費カロリーは、平地でのウォーキングの約2倍だと聞きました。

▽忙しくて、朝を除いて、体操時間を特別に取れません。それで、3、4階位なら、エスカレーターもエレベーターを使用をしない様に心掛けています。

▽先月、人間ドックに入った。若干血圧が高いくらいで、他は、殆ど異常はなかった。視力は1.5だった。老眼鏡を強いて使わず新聞が読める。

▽受験勉強をしなかった効果が今になって出てきたようだ。もう暫く眼鏡なしで「とんからりん」を20で入力できそう。

▽朝夕、眼玉にシャワーを当てて鍛えた成果かも知れない。残念ながら、聴力は、都合の悪いこととは耳は入らなくなった。